

令和5年度 東北中学校体育大会
第60回東北中学校スキー大会災害緊急時対応要項

東北中学校体育連盟

- 1 趣 旨 東北中学校体育大会において、自然災害及び緊急事態（重大事故及び食中毒及び感染症、弾道ミサイルの発射等）が発生した場合の対応方法を具体的に示す。
- 2 目 的 自然災害及び緊急事態発生に関しては、大会運営者だけでは対応しきれないものもある。主催者である東北中学校体育連盟、東北関係競技団体や開催県教育委員会と連携をとりながら進め、適切に対応することを目的とする。
- 3 内 容 自然災害及び緊急事態（重大事故：死亡事故及び後遺症発生事故、及び食中毒及び感染症、弾道ミサイル発射他）
- 4 方 法 自然災害及び緊急事態発生の際は、開催競技実行委員会が連絡対応の窓口として対応する。
- 5 大会運営の基本
 - (1)原 則 … 東北代表を決定することを原則とする。
 - (2)最 終 判 断 … 最終判断は開催県会長が行う。
 - (3)予備日設定 … 予備日の設定及び順延は最大2日とする。
 - (4)大会の成立 … 災害、緊急事態等で参加不可の学校があった場合は、開催競技実行委員会、開催県中体連で協議し、開催県会長が開催・延期・中止の決定をする。決定した内容については、速やかに東北中学校体育連盟に報告をする。
- 6 具体的対応
 - (1) 自然災害
 - ① 大規模な災害（地震、津波、巨大台風、噴火等）に関しては、その規模、警戒レベルに応じ、実行委員会と開催県中体連が連携し、対応を検討する。状況によっては対策本部を設置し、関連機関との連携を図りながら検討する。
 - ② 通常 of 自然災害（降雨台風等）に関しては、開催県会長が競技実施の判断を行う。
 - (2) 重大事故
 - ① 緊急疾患特に心停止、呼吸停止等に関しては、初期対応を事故発生現場で関係団体が行う。AEDは必ず確保し、対応できる体制にする。
 - ② 事件・事故による死亡、後遺症のおそれのある事故については、実行委員会から関係機関への連絡を速やかに進める。
 - (3) 食中毒（O157・ノロウイルス等）
 - ① 食中毒発生の時間と場所によるが原則として保健所・病院と連絡をとり、その指示指導を受ける。
 - (4) 感染症（麻疹・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等）

発 症… 発熱と発疹等の症状の場合は直ぐ病院に搬送する。発症が確認された段階で感染拡大を防ぐ意味で出席停止（出場停止）扱いとする。

 - ・発症した選手の同県、同宿泊所の選手の症状を確認するよう監督に連絡する。

(5) 弾道ミサイル発射への対応

① 大会直前に Jアラートが鳴った場合の対応

- 前日の下校後から大会当日の朝までの間
- ・領海外にミサイルが落下した場合 → 予定通り大会を実施
 - ・領海内にミサイルが落下した場合 → 自宅、または宿舎待機
- ※大会実施の有無等は状況に応じて判断する。

② 大会中に Jアラートが鳴った場合の対応

- ・競技を中断し、近隣の建物へ避難する。
- ※近隣に避難できる建物がない場合 → 物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。
- ・屋内では、できるだけ窓から離れ、頭部を守る。

◎領海外にミサイルが落下した場合 → 原則予定通り大会を実施

※上位大会の予選を兼ねていない大会であり、さらに終了時刻に大きく影響するよ
うな状況の場合、競技を再開せず、「中止」とすることもあり得る。

◎領海内にミサイルが落下した場合 → 競技の中止

安全が確保されるまでその場で待機

※その後の大会の実施の有無や再開方法は状況に応じて判断する。

領海内にミサイルが落下した場合、その後の対応については、ミサイルの着弾の
場所、被害の状況、国の対応や国際情勢等を踏まえながら、各関係機関と相談の
上判断し、参加チームへ連絡する。

7 報道対応

各県教育委員会と連絡を取り合い、その対応について協議する。

8 大会の実施が困難な場合の対応

自然災害や感染症の流行、ミサイル発射等により、東北大会の開催が難しい状況に
陥った場合、以下のように対応する。

- (1) 大地震や大津波等、ミサイルの領土内の落下等、社会に重大な影響を及ぼす災害が
起こった場合は、全国大会の出場権の如何を問わず、大会を即刻中止する。
- (2) 上記以外の場合は以下のように対応する。
開催地の変更や順延等の対応が難しい状況であり、すでに県大会で全国大会出場
校や出場選手が決定している場合は大会を中止する。
- (3) 一部の県だけが参加できない状況になった場合、以下の原則のもと、対応する。
 - ① 2県3チーム以上(個人種目は2県以上)の参加があれば大会は成立するものとする。
 - ② 男子種目、または女子種目のみの開催もあり得る。

※スキー競技は、県予選で全国大会出場選手(県代表)が決定しているため、延期は
せずに中止とする。